

1. 地域の為に、ご近所の為に、「こんなことをやっている人」「活躍している人」について

【A班】 渡邊会長、大内委員、鎌田委員、角野委員、奥本隊員	【B班】 東副会長、岡山委員、小山委員、平賀委員、森田委員、八木沼支援員
<ul style="list-style-type: none"> ・父親が除雪をしていると、となりの人(角田さん)が除雪機で雪を飛ばしてくれる。自分達の場合は自分達で解決できるとの自負があるので、ライフサポート等に依頼はしていない。角田さんにも頼んでいるわけではなく、角田さんと除雪のタイミングがあった時についてにやってくれている感じ。 ・福祉除雪というサービスがある。300m以内に身内がいると依頼することができない。サービス提供者が2名しかいないのが今の問題。 ・通夜や葬儀に出席できない人から香典を預かる。 ・ライフサポート等に除雪を依頼すると、除雪中に在宅していないといけない。日中は番屋等での作業があり、早朝等に除雪をしてもらいたいため近所の知り合いに頼んでいる ・段ボール等の大きめのゴミ出し ・厚田は雪が多いので、雪が多い場所での農業のやり方を教えてもらっている ・頼まれれば郵便局に車で送ったり、足がおぼつかないような人が歩道を歩いていると車に乗せて送ったりすることはある。 ・隣近所の人を気にして、見守る文化はある:カーテンが開いていないと呼び鈴を鳴らして確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所さんは、ご主人が無くなって奥さんの一人暮らしが多い。60代の方で、免許がないから徒歩圏内のみだが、買い物や困りごとのお助けしている方がいる。 ・助け合いが日常。地域の結束力がすごい。 例)誰かが入院したら、除雪してあげる。してもらったら何かでお返ししている。 ・困ったことを誰かに投げかけたら、ローカルネットワークで解決。知り合いレベルで問題が解決。支所にはない気軽さとスピード感。 ・お隣さんがいつもうちの分まで草刈りしてくれた→ご高齢でできなくなってきたので今度はこちらの番。 ・トーマン団地で、ラジオ体操していた。普段顔を合わせる機会がない人と会えるのでいい機会だった。 ・裏のお寺の住職が、ついでだからと草刈りや除雪をしてくれて、助けられている。

2. 委員自身が、「こんなことが困っているのでは」「こんなことを助けて欲しいのでは」と思っていることや、「助けたい」「手を差し伸べたい」と思っている事について

【A班】 渡邊会長、大内委員、鎌田委員、角野委員、奥本隊員	【B班】 東副会長、岡山委員、小山委員、平賀委員、森田委員、八木沼支援員
<ul style="list-style-type: none">・新規就農者や移住者を厚田に呼び込む。・保育所の送迎を厚田学園のスクールバスでしてもらっていたことがある。子供と一緒にいると元気がもらえる。今はやっていないが、継続した方がいい。・子供を急に病院へ連れていく際、家に残していく子供たちの面倒を見てもらいたい。・LEDの電球の交換は本体ごと換えないといけない機種もあるようなので、高齢者はついていくことができないのでは？ 誰かの助けが必要そう。・町内会活動が年1回の新年会しかない。こんな頻度でいいの？→その他の地区は？厚田/別狩は5~6回/年やっている。・薬を飲んだか確認してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none">・周りに女性の一人暮らしが多いと、男性のいない不安がある。おかず作って持っていこうかな～・本人じゃなくて、普段からそれを聞いている人に聞き取りした方が、本当の困りごと出て来るかも。・迷惑かけたくない、遠慮があるので、言えない人も多いただろう。おばあちゃん同士は言いやすい。・点在する立地の家では、目配りが行き届かない。・買い物は生協の「かける便」でどうにかなっているけど、病院が大変そう。厚田クリニックへいかに便利に行くか・親戚に頼っている部分もあるが、その親戚も日中は働いているので、空白がでてしまう。本当はその日中にしたいこと、行きたいところがある。・発足のスクールバスの、登下校以外の時間の増便があれば利用者が増えるのでは？・手助けする側からすると、おせっかいじゃないかな？一度助けたらずっとやってあげないと。と思うとそこがネックになる場合もある。・コロナの影響→集まる機会がない、葬儀が家族葬＝顔を合わせる機会が失われた。何かで集まるにしても、送迎の補助は必要。・医療、福祉のフォローが必要、一番は足の問題。